

(3) 『ふかふか』をお休みする場合

* 来所予定日に風邪や用事などでお休みをする場合は、必ず前もって個別メールにてご連絡ください。やむを得ない場合は、お電話でもかまいません。

できるだけ早めのご連絡を、お願いいたします。

* 学童保育『ふかふか』連絡先 *

☎ 0467-32-3830

fkfk.gakudou@gmail.com

070-1300-0792 (夜間・緊急時)

(4) 緊急時・学校休業日の対応

* 緊急時は、子どもたちの安全の確保を一番に考え、保護者の責任のもとでの来所・帰宅となります。

* 通常通りと記載のない箇所については、**その後の状況次第で帰宅についての条件が変わる場合があります。その場合はMLにてご連絡いたしますので、こまめにご確認ください。**

なお、保護者のご判断で早めにお迎えに来ていただいてもかまいません。

* 学級閉鎖・休校（インフルエンザなど）の対応について

学級閉鎖や学年閉鎖は、病気のこれ以上の拡散を防止するためのものですので、本来はご家庭で静養していただきたいと考えております。しかしながら諸事情を考慮し、『ふかふか』に来所する前に熱などの諸症状がなかった場合には、受け入れることにいたします。子どもが家に一人でいる間に発病してしまう可能性なども考慮しての事ですので、マスク着用など、ご配慮願います。また、こうした時期はメール確認をできるだけこまめにお願いたします。

学級閉鎖などの対象でなければ、通常通りお預かりいたします。

* 『ふかふか』のスタッフが、風水害などやむを得ない事情により出勤できない場合、受け入れ時間が変更になる場合があります。MLにてご連絡いたしますのでどうぞご了承ください。

件名	受け入れ条件・受け入れ時間
風水害で臨時休校(前日決定)	保護者もしくは受け渡し人の付き添いにて、8時より
風水害で臨時休校(当日決定)	保護者もしくは受け渡し人の付き添いにて、8時より
風水害にて登校時間を遅らせた場合	放課後より
一斉下校	放課後（一斉下校時刻）より
お迎え・受け渡し下校	保護者もしくは受け渡し人の付き添いにて、放課後より
お迎え・受け渡し下校訓練	放課後より通常通り
長期休暇中の警報発令時	保護者もしくは受け渡し人の付き添いにて、8時より
学級閉鎖・休校(インフルエンザなど)	熱などの諸症状がない場合は、受け入れる
長期休み・振替休日(月～金)	朝8時より19時まで通常通り
土曜日(長期休み・振休の土曜日も該当)	朝8時より17時まで通常通り

(5) 地震発生時の対応

*学校にて大きな地震にあった場合

学校の対応に任せます。

保護者の方は、学校の指示に従って対応してください。

『ふかふか』のお迎え・受け入れは、いたしません。

*下校中もしくは『ふかふか』にて大きな地震にあった場合

建物の損傷など危険がないと判断できる場合、津波警報が出ていない場合は、施設に留まります。子どもたちとスタッフが二日間過ごせる水、食料は常備しております。

お迎えに来られる方の安全が確保されたのち、速やかにお迎えをお願いいたします。

なお、受け渡しは保護者および受け渡し人のリストに記載のある方のみとなります。

*建物の損傷、津波警報などで危険と判断した場合は、安全確認のもと子どもたちと共に避難所に避難します。第一避難場所は深沢小学校、第二避難場所は深沢中学校です。

何らかの理由で避難所に行けない場合は、施設入り口に避難場所を掲示し、MLもしくは災害用伝言ダイヤル「171」にて行き先をお知らせします。

電話が使えない場合には、防災無線、広報車、鎌倉FMなどでの伝達になります。

災害用伝言ダイヤルでの伝言再生

《171》→案内に従い《2》→ふかふか電話番号《0467-32-3830》をダイヤル

*習い事をしている子どもたちへの対応

施設から習い事などに通っている子どもたちについては、状況において判断し、施設に留めます。

『ふかふか』から外出して戻るまでの間に地震にあった場合は、スタッフが対応したりお迎えに行ったりすることはできません。日頃より、ご家庭で様々なケースを想定して話し合いを重ね、災害に備えていただきますようお願いいたします。

*子どもたちが帰宅後、翌朝学校へ登校するまでの間に大きな地震があった場合

地震の状況にもよりますが、基本的に閉室となります。地震の大小にかかわらず、津波警報発令中も閉室となります。

11. 『ふかふか』の体験活動と「梶原あそび基地」の思い

① 日々の習い事（習い事の料金は、月会費に含まれています。）

「級」や「段」など、達成度を求めるものも励みになりますが、『ふかふか』では、本来の楽しみ、日常で「やっていてよかった」と思えるようなかたちでの、子どもたちと習い事との出会い、地域の先生方との出会いを大切にしていきます。

子どもたちには、以下のような思いでスタッフから声かけをし、習い事に誘います。

*そろばん・・・四則計算は大人になってもずーと使う。

(角田郁夫さん) 役に立つことを学ぶのは楽しいよね。

*英 語・・・2020年のオリンピックに向けて、これからたくさんの方が外国からやっ

(大海絵梨香さん) てくる！みんな、日本の事知ってる？紹介できるかな？

英語は伝えるツール。うまく話すより何を伝えるかが大切。

まずはグローバルな視野で、物事を考えられるようになったら大成功！

*習 字・・・昔は墨をすって、筆で文字も絵も描いた。すごく身近なものだった。

(松本貴子さん) 習字を通して伝わるものは何だろう？

みんなとどんなことができるか、わくわくするね。

*造 形・・・先生は現在も大学で学生さんたちに造形を教えているよ。いろいろなも

(威知朋恵さん) のに出会って、モノづくりを楽しむ感性が育っていったらいいな。

(カッコ内講師名)

② 他団体とのつながり

*「梶原あそび基地」は、16団体と個人会員から構成される「かまくら子育て支援グループ懇談会」の一員です。鎌倉市から補助金を受けて、「一日冒険遊び場」や「ママ's カレッジ」、鎌倉女子大で行われている「パパママカレッジ」など、様々なイベントで市内の子育て世代を応援しつつ、鎌倉市とのつながりを生かして、子育て支援者と子育て世代の立場から、さまざまな提案をしてきています。

*「NPO 法人 芸楽塾」とは、これまで「梶原あそび基地」と言えばコレ！というような、象徴的な子どもの造形あそびを数多く行ってきました。

今年の夏休みに向けては、毎年芸楽塾が行っている新潟での“自然体験と造形あそび”の合宿を、「梶原あそび基地」とコラボで実現しようと計画中です。

*「NPO 法人 鎌倉てらこや」には、大学生と子どもたちの交流を通じて、本当に貴重な異世代交流を担ってもらっています。去年は、「てらこや」の本拠地「てらハウス」でのお泊り会が大好評。大学生と関わることで彼らの思いを知り、ボランティアの意味を考え、視野の広がった子どもがたくさんいます。

- * 鎌倉のプレーリーダー「インディ」こと宮田政美さんは、市内で15年以上青少年育成活動をしている、「梶原あそび基地」のパートナーともいえる存在。常に子どもと同じ目線で物事を考え、温かく見守り行動してくれる、子どもたちの心の拠り所であり、頼もしい存在です。
- * 「梶原山町内会」とは、町内会の秋まつりでイベントコラボするなど、大変お世話になっています。今後は「常盤町内会」にも、ぜひ仲良くしていただきたいです。
地域のお祭りやイベントを、『ふかふか』の子どもたちも一緒に楽しみましょう。
- * 『ふかふか』の子どもたちが生まれ育つ鎌倉は、魅力的な場所であり、魅力的な人々がたくさんいらっしゃいます。出会わなければもったいない!!と思います。
子どもたちの成長にとって、とても大切で多感なこの時期に、成長を見守る大人として、できるだけ多くの経験と、たくさんの人の愛情に触れる機会を、一緒に作っていきませんか？
- * 『ふかふか』とつながる、地域の方々、団体の紹介は、少しずつHPにアップしていきます。ぜひご覧ください。

12. 保護者会はありません

『ふかふか』では、保護者の会を組織することや、おやつを提供、夏のプールのお当番を、お願いすることはありません。

しかし保護者の皆さんには、子どもたちの今しかない学童期を大切にしていきたいと考えておりますので、**定期的に親子参加のイベントを企画し、ご招待いたします。**

イベントを楽しみながら、お子さんの『ふかふか』での様子を写真でご覧いただいたり、保護者同士が知り合って、『ふかふか』で対応しきれないようなピンチのときに、お互い助け合えるような関係を少しずつでも作ることができたなら、みんなハッピー！家族ぐるみのお付き合いにまでなれたなら、さらに素敵だなと思っています。

共に子育てを楽しみましょう。
どうぞよろしく願いいたします。

以 上